

# ネットにひそむ危険

富岡市立妙義中学校

三年 清水 優

ネットを使ったトラブル。そんなことを最近よく聞きますが皆さんは普段インターネットを利用していませんか？パソコンやスマートフォンが生活の中に普及している今おそらくほとんどの人が利用しているでしょう。しかし、そんな便利なインターネットですが、何気なくサイトにあげた写真や動画、発言などに住所特定や事件などに巻き込まれてしまうカギが潜んでいるかもしれません。そんなインターネットを安全に利用できるように主張したいことが三つあります。

一つ目は、動画、写真を撮るときには周りに十分注意をするということです。皆さんはどこかのサイトに写真や動画をアップするとき、特定の場所だとわかるような特徴的なものが写っていないか確認していますか？実際に某有名動画サイトに上がっている動画やS

NSにあがっている写真から住所や氏名を特定する技術を持った人はネットに大勢います。ネットで差別的発言をして炎上した人がSNSの写真から住所、氏名、学歴など特定されネット上にさらされていきました。ネットにはとてつもない時間や技術を使い住所や氏名を特定してしまう人がいることを頭に置いておき、利用してほしいと思います。

二つ目は、ネット上での発言に気をつけるということです。ある動画のコメント欄を見ると「しゃべり方がうざい」や「編集下手すぎだろw」などのアンチコメントが乗っていることがあります。私は別にアンチはいいと思います。なぜなら、見方を変えればアドバイスのようなものだと思うからです。しかし、すべての人間が見方を変えて考えることはできません。言葉を素直に受け止めてしまう人もいます。なぜことばを素直に受け止めてしまうのか。それは「言い方」の問題だと思えます。最初の例をアドバイスに直すと「しゃべり方がうざい」は「しゃべり方を直せばもっとよくなる」になり、「編集下手すぎだろw」は「編集がんばって！」と置き換えることができますが、すべての

人間がこのように捉え直せるとは限りません。ご存じのとおりネット上では相手の顔を見て会話ができません。なので、つい言葉を選ばずに発言してしまいます。皆さんもそんな経験はありませんか？面と向かってなら絶対に言わないのに、ラインやメールの文面ではつい放つてしまう言葉。そんな話は身の回りでもよく聞いているでしょう。なので、ネットでは相手の気持ちをよく考えて発言してほしいと思います。

三つ目は、ネットがらみの犯罪には気を付けるということ。皆さんは最近起きたSNSを使い自殺願望のある人など計九人を殺害した事件を覚えていますか？あの事件もSNSがきっかけで起きた事件です。私はあの事件を見て、小さいころによく言われた「知らない人についていけない」ということを思い出しました。現実でもネットでも同じことがいえると思います。SNS上での会話は、本心ではないかもしれないです。言葉ならいくらでも都合よく言うことができます。自分に共感してくれた、自分のことを思ってくれていると錯覚してしまう気持ちもわからなくはありません。しかし、顔の見えない相手を本当に信用できますか？

そもそも、自分の悩みをネット上にあげ、見ず知らずの人に見えるようにするのは問題ではないでしょうか。ネットには数々の危険が潜んでいます。ネットを使った犯罪に巻き込まれないように注意してほしいとおもいます。

もう一度主張したい三つのことを整理します。一つ目は、動画、写真から個人情報特定されないようにするということ。二つ目は、ネット、SNSで発言するときはその向こうに相手がいるということに気を付けること。三つ目は、ネット上で知り合った相手には気を付けることです。私たちの身近にあるネットやSNS。普段身近なところで何も事件が起きていないため、つい安全な部分だけを見て危険な部分を伏せてしまいがちですが、ネットには危険なもの・危険な人がいることを忘れないでください。「またこんなこと言ってるよ」「もうわかってるよ」と思った人もいると思います。しかし、できていない人がいるのが現状です。そんなネット社会で次に被害に遭うのは、あなたかもしれないです。